

広島県感染症発生動向月報

〔広島県感染症予防研究調査会〕

(令和8年2月解析分)

1 今月のトピックス

(1) 3月1日(日)～3月7日(土)は「子ども予防接種週間」!



令和8年3月1日(日)から3月7日(土)までの7日間は、「子ども予防接種週間」です。この時期は、接種漏れを見直すのに最適な時期です。4月からの入園・入学に備え、必要な予防接種を済ませ、病気を未然に防ぎましょう。

- 予防接種のタイミングは、感染症にかかりやすい年齢などをもとに決められており、予防接種を延期すると、感染症にかかるリスクが高い状態となります。
- 予防接種に関する質問は、かかりつけ医に御相談ください。
- 予防接種が受けられる医療機関については、お住いの市町の予防接種担当課へお問合せください。
- 予防接種を希望される方は、医療機関へ事前に予約しましょう。

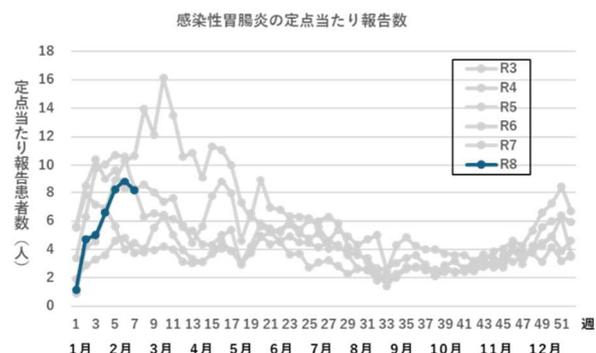
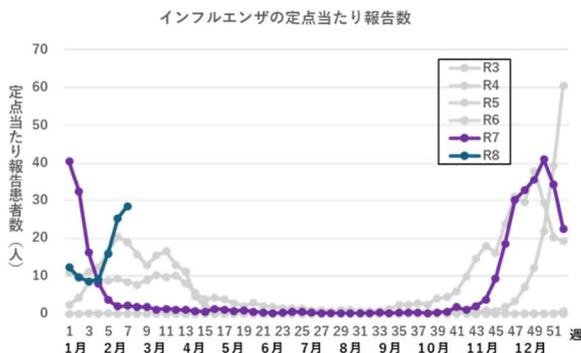
㊦ RS ウイルス母子免疫ワクチンの定期接種が始まります

- 令和8年4月から、RS ウイルス母子免疫ワクチンが定期接種化されます。ワクチンを妊婦に接種することによりRS ウイルスに対する抗体が母体で作られ、抗体が胎盤を介して胎児に移行し、新生児や乳児における、RS ウイルスを原因とする下気道疾患を防ぐことができます。接種対象者は、妊娠第28週0日から妊娠36週6日までの方(接種する日の妊娠週数を基準とします)で、接種回数は1回、接種費用は無料です。詳細は、お住いの市町へお問い合わせください。

(2) インフルエンザ警報発令中! 感染性胃腸炎などの感染症にも要注意!

令和7年第47週(11月17日から11月23日)の県内定点医療機関からのインフルエンザの報告患者数が、西部東及び広島市保健所管内で、警報開始基準値(定点当たり30)を上回り、令和7年11月27日に県内全域に「インフルエンザ警報」を発令しました。今シーズンは令和7年第50週をピークに報告患者数が減少していましたが、令和8年第4週より再度流行が拡大しており、3週連続で報告患者数が増加中のため、引き続き注意が必要です。

また、1月から2月にかけて「感染性胃腸炎」が増加しており、複数の施設でノロウイルスなどによる感染性胃腸炎の集団発生が確認されているため、今後注意が必要です。感染症流行の拡大防止のために、場面に応じたマスク着用や手洗い等の感染予防の徹底をお願いします。



2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和8年1月分(令和7年12月29日～令和8年2月1日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	23,469	53.10	-	↘	11	突発性発しん	25	0.10	0.21	↘
2	インフルエンザ ※3	4,859	10.99	3.71	↓	12	ヘルパンギーナ	2	0.01	0.05	
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	474	1.07	-	→	13	流行性耳下腺炎	8	0.03	0.02	
4	RSウイルス感染症	129	0.49	0.22	↘	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	86	0.33	0.54	↘	15	流行性角結膜炎	58	0.67	0.60	↘
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	494	1.88	0.76	↘	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	1,419	5.40	6.30	↗	17	無菌性髄膜炎	1	0.01	0.01	
8	水痘	70	0.27	0.09	↗	18	マイコプラズマ肺炎	82	0.82	0.29	↘
9	手足口病	6	0.02	0.27	↓	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	53	0.20	0.03	↓	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	6	0.06	0.01	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更 ※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和8年1月分(1月1日～1月31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
21	性器クラミジア感染症	49	2.23	3.25	↘	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	80	4.00	3.55	↘
22	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.86	1.02	↗	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.11	
23	尖圭コンジローマ	12	0.55	0.64	↘	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
24	淋菌感染症	28	1.27	1.46	↗	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	なし	
○急減疾患	インフルエンザ	(33.24 → 10.99)
	手足口病	(0.13 → 0.02)
	伝染性紅斑	(0.52 → 0.20)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内147の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	36	52	17	22	20	147

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	26	結核(26)〔西部保健所(4)、西部東保健所(5)、東部保健所(3)、北部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(3)、福山市保健所(3)〕
三類	17	腸管出血性大腸菌感染症(17)〔西部保健所(2)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(13)〕
四類	8	A型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 E型肝炎(1)〔西部保健所(1)〕 レジオネラ症(6)〔西部保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(2)、福山市保健所(1)〕
五類	44	アメーバ赤痢(1)〔広島市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(3)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(2)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(1)〔広島市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(3)〔広島市保健所(2)、呉市保健所(1)〕 破傷風(2)〔西部保健所(1)、呉市保健所(1)〕 梅毒(10)〔東部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 百日咳(23)〔西部保健所(1)、西部東保健所(4)、東部保健所(1)、広島市保健所(7)、呉市保健所(2)、福山市保健所(8)〕 麻疹(1)〔広島市保健所(1)〕